

平成24年度LCA日本フォーラム総会資料 (案)

- 第1号議案 平成23年度活動実績報告書 資料1
- 第2号議案 平成23年度収支決算書 資料2
- 第3号議案 平成24年度活動計画書 資料3
- 第4号議案 平成24年度収支予算書 資料4
- 第5号議案 平成24年度役員交替 資料5

参考資料1 平成24年度役員・委員会名簿

参考資料2 LCA日本フォーラム規約

平成24年7月3日
14時00分～14時45分
於：學士会館 202号室

LCA日本フォーラム
事務局：社団法人産業環境管理協会

平成23年度活動実績報告書(案)

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

1. 会議関係活動

1-1. 総会

◇平成23年7月5日 於 TKP 大手町カンファレンスセンター WEST ホール B
平成22年度活動実績報告書(案)、平22年度収支決算書(案)、平成23年度活動計画書(案)及び平成23年度収支予算書(案)を審議し承認した。

<平成23年度役員(敬称略)>

- | | | |
|---------|----------|--|
| 1. 会長: | 山本 良一 | 国際グリーン購入ネットワーク 会長(当時)
東京都市大学 環境情報学部 特任教授(現職) |
| 2. 副会長: | 稲葉 敦 | 工学院大学 工学部 教授 |
| | 足立 芳寛 | 東京大学大学院 工学系研究科 教授 |
| | 古賀 剛志 | 特定非営利活動法人 エコデザイン推進機構 理事 |
| | 菅原 郁郎 | 経済産業省 産業技術環境局 局長 |
| | 奥平 総一郎 | 社団法人日本自動車工業会 環境委員会委員長
トヨタ自動車株式会社 常務役員 |
| | 関田 貴司 | 社団法人日本鉄鋼連盟 環境・エネルギー政策委員会 委員長
JFE スチール株式会社 副社長 |
| | 福島 秀男 | 社団法人日本経済団体連合会
環境安全委員会廃棄物・リサイクル部 部会長代行 |
| 3. 監事: | 笠井 清 | 太平洋セメント株式会社 取締役専務執行役員 |
| | 中村 和利 | 一般社団法人日本化学工業協会 技術部 部長 |
| | ※ 二神 龍太郎 | キヤノン株式会社 環境品質本部 環境標準部 部長
(※平成23年8月より中村氏より交替) |

1-2. 運営委員会

1回開催し、総会付議事項を承認した。

◇第1回 平成23年6月21日 於 中央大学駿河台記念館 320会議室
出席: 委員 20名、オブザーバー 1名、事務局 3名
議案: ・新 LCA 日本フォーラムについて
・総会付議事項について
平成22年度活動実績報告書(案)、平22年度収支決算書(案)、平成23年度活動計画書(案)及び平成23年度収支予算書(案)を検討、審議した。
・各専門委員会、研究会の活動について(報告)

1-3. LCA/DB 委員会

1回開催し、LCA日本フォーラムデータベース活用の確認と今後の取りまとめ方策等について検討した。

◇第1回 平成23年6月20日 於 中央大学駿河台記念館 330会議室
出席: 委員 15名、オブザーバー 1名、事務局 4名
議案: ・平成 22 年度 JLCA データベース活用状況について
・JLCA データベース設備更新の進捗について
・各工業会の LCA 活動の状況について
・各専門委員会、研究会の活動について(報告)

1-4. LCA データベース設備等更新検討ワーキンググループ

1回開催し、LCA データベースを取り巻く状況の進展を基に、JLCA データベース設備等更新検討の進捗および今後の実施内容についての検討を行った。

◇第1回 平成23年6月2日 於 (社)産業環境管理協会 D 会議室

出席: 委員 6名、事務局 4名

議案: ・LCA データベース設備等更新検討の進捗及び今後の実施内容について
・会員へのアンケート調査結果について
・データベースの移行に係る見積もりについて

1-5. 情報企画委員会

3回開催し、セミナー及びニュースレター発行計画、ホームページからの情報発信について検討した。

◇第1回 平成23年5月25日 於 (社)産業環境管理協会 D 会議室

出席: 委員 7名、事務局 2名

◇第2回 平成23年 8月3日 於 (社)産業環境管理協会 D 会議室

出席: 委員 6名、事務局 2名

◇第3回 平成24年1月16日 於 (社)産業環境管理協会 特別会議室

出席: 委員 6名、事務局 2名

議案: ・平成 23 年度セミナー開催実績・計画
・ニュースレター発行実績・計画
・ホームページおよびそれを活用した情報発信の充実について

1-6. 研究活動委員会

1 回開催と2回メール審議により、LCA、環境効率関連テーマに関し会員間相互の情報交流並びに研究企画を検討し、新規研究会設置の承認をした。

◇第1回 平成23年5月27日 於 (社)産業環境管理協会 D 会議室

出席: 委員 5名、事務局 2名

議案: ・新規研究会「ICTと生物多様性」の設置について
・平成23年度 新規研究会の設置についての検討
・各専門委員会、研究会の活動について(報告)

◇メール審議 2回

・新規研究会「LIME2 活用検討パート3」の設置についての承認
・新規研究会「電子メディア」の設置について承認

1-7. LCA日本フォーラム表彰選考委員会

「平成23年度第8回LCA日本フォーラム表彰」に関する以下の各賞最終選考を行った。

◇平成23年11月14日 於 (社)産業環境管理協会 D 会議室

出席: 委員 7名、オブザーバー 1名、事務局 2名

議題: ・表彰選考 WG による事前審査結果について(報告)
・第8回 LCA 日本フォーラム表彰の最終選考について(審議)

1-8. LCA日本フォーラム表彰選考ワーキンググループ

2回開催し、公募数増加のための施策を検討し、申請内容の事前審査を行い、その結果をLCA日本フォーラム表彰選考委員会に提出した。

◇第1回 平成23年9月2日 於 (社)産業環境管理協会 C 会議室

出席: 委員 4名、事務局 2名

議案: ・第8回LCA日本フォーラム表彰 募集要項等の検討
・第8回LCA日本フォーラム表彰 広報活動の検討

◇第2回 平成23年11月10日 於 (社)産業環境管理協会 C 会議室

出席: 委員 5名、事務局 2名

議案: ・WG委員による事前審査結果について

- ◇事前審査 委員7名
応募件数 18件 (LCA 部門=10件、環境効率部門=8件)

2. データベース管理活動

2-1. データベース運用実績

データベースログイン実績 約3,900件 (前年 約6,400件)
データダウンロード実績 約1,020件 (前年 約1,200件)

2-2. データ新規追加・更新状況

■2011年度1版 (2011/4/1-2011/6/30)

一般社団法人日本壁装協会のインベントリデータを 1 件新規追加

- 1 塩化ビニル樹脂系壁紙

塩化ビニル環境対策協議会のインベントリデータを 3 件新規追加

- 1 硬質塩化ビニル管製造
- 2 農業用塩化ビニルフィルム製造
- 3 硬質塩化ビニル平板製造

社団法人電子情報技術産業協会のインベントリデータを 7 件新規追加

- 1 ディスクリート(直軸構造ガラス封止_0.5mm)
- 2 ディスクリート(直軸構造樹脂封止_0.5mm)
- 3 ディスクリート(直軸構造樹脂封止_1.0mm)
- 4 ディスクリート(直軸構造樹脂封止_1.5mm)
- 5 ディスクリート(平面構造樹脂封止_4.64mm²)
- 6 ディスクリート(平面構造樹脂封止_45.5mm²)
- 7 ディスクリート(平面構造樹脂封止_150mm²)

参考データを 2 件削除

- 1 ポリ塩化ビニルのパイプ加工
- 2 ポリ塩化ビニルのカレンダー加工

■2011年度2版 (2011/10/1-2011/12/31)

発泡スチロール協会のインベントリデータを 4 件新規追加

- 1 発泡スチロールの再生システム(粗粉碎～インゴット・電気式～粉碎～再生ペレット化)
- 2 発泡スチロールの再生システム(粗粉碎～インゴット・灯油式～粉碎～再生ペレット化)
- 3 発泡スチロールの再生システム(粗粉碎～再生ペレット化)
- 4 発泡スチロールの再生システム(粗粉碎～微粉碎)

社団法人セメント協会のインベントリデータを 3 件更新

- 1 ポルトランドセメント製造
- 2 高炉セメントB種製造
- 3 フライアッシュセメントB種製造

2-3. JLCA データベースハードウェア設備更新

JLCA データベース設備は導入から 10 年以上が経過し、サーバーシステムの保守期限が過ぎており、運転管理上の問題があった。本年度は、現在の操作機能は保持したままサーバーシステム本体(ハードウェア)のみの移設を行った。【新サーバーシステム=さくらレンタルサーバー(専用サーバ)】

3. 研究会活動

3-1. 「ICT(情報通信技術)と生物多様性」に関する研究会

◇「ICT(情報通信技術)と生物多様性」に関する研究会 WG メンバー

委員長 松野泰也(東京大学大学院工学系研究科研究科マテリアル工学専攻 准教授)

委員 香坂玲(名古屋市立大学大学院 経済学研究科 准教授)

NTT 環境エネルギー研究所

WGメンバー

いであ株式会社	日本ユニシス株式会社
伊藤忠商事株式会社	パシフィックコンサルタンツ株式会社
株式会社 MIC 武田技術士事務所	株式会社日立製作所
キヤノン株式会社	株式会社日立製作所 情報・通信システム社
株式会社東芝	富士ゼロックス株式会社
東芝ソリューション株式会社	富士通株式会社
株式会社日本製紙グループ本社	富士通エフ・アイ・ピー株式会社
日本電気株式会社	

■第1回 平成23年7月29日 於 中央大学駿河台記念館 560会議室

事例発表：富士通株式会社

「ICT(情報通信技術)と生物多様性に関する取り組み紹介(富士通)」

富士通株式会社 環境本部環境企画統括部 朽網道徳

■第2回(公開講演会)

平成23年10月25日 於 東京ステーションコンファレンス 605会議室

招待講演：

「生物多様性条約COP10を振りかえって：ICTへのインプリケーション」

名古屋市立大学大学院 経済学研究科 准教授 香坂 玲

事例発表：日立製作所

「企業が進める生態系保全活動と見える化 -日立 IT エコ実験村-」

日立製作所 情報・通信システム社 環境推進本部 部長 谷 光清

■第3回 平成24年3月14日 於 エッサム神田ホール プレゼンルーム1(901)

事例発表：

「日本の自然の特異性と生物データの特性」

株式会社セルコ 代表取締役 赤澤豊

「環境経営を統一的に管理する会計手法の可能性」

株式会社 MIC 武田技術士事務所 代表取締役 武田彰夫

「日本製紙グループの生物多様性への取り組み」

日本製紙グループ CSR本部 主席技術調査役 渡邊恵子

3-2. 「LIME2 活用検討 WG パート3」研究会

◇「LIME2 活用検討 WG パート3」WGメンバー

委員長 伊坪徳宏(東京都市大学 環境情報学部 准教授)

委員 本下晶晴(産業技術総合研究所 社会とLCA 研究グループ 研究員)

WGメンバー

株式会社日立製作所	株式会社東芝
大日本印刷株式会社	日産自動車株式会社
工学院大学	一般社団法人日本壁装協会
帝人株式会社	パナソニック株式会社

◇「LIME2 活用検討 WG パート3」研究会 実施内容

1. LIME2の利用方法の解説、指導
2. 生物多様性や水を対象とした影響評価の検討
3. 事例研究、結果の解釈と考察、クリティカルレビュー
4. 環境評価手法への活用方法の検討
5. LIME2 活用事例の公表(報告書作成)

- 第1回 平成23年9月29日 於 エッサム神田ホール プレゼンルーム2(902)
- 第2回 平成23年12月1日 於 エッサム神田ホール プレゼンルーム2(902)
- 第3回 平成24年 2月6日 於 エッサム神田ホール プレゼンルーム1(901)
- 第4回 平成24年3月13日 於 エッサム神田ホール プレゼンルーム1(901)

3-3. 「電子メディア」研究会

◇「電子メディア」WG メンバー

- 委員長 田原聖隆(独立行政法人産業技術総合研究所
安全科学研究部門 社会とLCA 研究グループ長)
- 委員 清水印刷紙工株式会社
株式会社富士通研究所
- WG メンバー 株式会社メディア・ナレッジ
富士フイルム株式会社
ソニー株式会社
大日本印刷株式会社

◇「電子メディア」研究会 実施内容

1. LCA 算定項目の検討(電子書籍/印刷書籍制作フローの検証)
2. ICTサービスの評価範囲について
3. システム開発における環境負荷の算定方法について
4. 電子メディアに関するLCA 報告書作成

- 第1回 平成23年11月21日 於 (社)産業環境管理協会 E会議室
- 第2回 平成24年 1月28日 於 (社)産業環境管理協会 F会議室
- 第3回 平成24年 3月21日 於 (社)産業環境管理協会 E会議室

4. 報告会・セミナー・シンポジウム関係活動

4-1. LCA日本フォーラムセミナー

① 平成23年度 LCA 日本フォーラム総会記念セミナー

平成23年7月5日 於 TKP 大手町カンファレンスセンター WEST ホールB

参加: 130名(フォーラム会員、非会員、講演者、関係者)

内容: 「東日本大震災と福島第一原発事故から学ぶ LCA の発展方向」

東京都市大学 環境情報学部 教授 山本良一

「LCA 日本フォーラム15周年に際して」

工学院大学 工学部環境エネルギー化学科 教授 稲葉 敦

「グリーン IT 関連規格/規制の最新動向」

株式会社日立製作所 情報・通信システム社 環境推進本部 並河 治

研究報告:ICTの環境効率評価のための価値検討 WG

研究会1:「ICTの環境効率評価のための『価値』算出事例」

東芝ソリューション株式会社 IT技術研究所 研究開発部 村田 尚彦

研究会2:「クラウドサービスの環境影響評価手法の検討」

富士ゼロックス株式会社 R&D 企画管理部 伊藤 裕二

② LCA 日本フォーラム/CFP 日本フォーラム共催セミナー 「LCA/CFP セミナー」

平成23年11月2日 於 大手町ファーストスクエアカンファレンス Room B+C

参加: 200名(フォーラム会員、非会員、講演者、関係者)

内容: LCA 事例 講演9名(本フォーラムより)

「国内における化学製品のライフサイクル評価 carbon-Life Cycle Analysis(c-LCA)」
 一般社団法人日本化学工業協会 技術部 笠井 清
 「紙カップ分科会における LCA への取り組み」
 株式会社アルファ総合計画研究所 有間俊彦
 「電子部品業界と半導体業界のLCAへの取り組み」
 (電子部品) 株式会社村田製作所 技術企画部 中野 清
 (半導体) エルピーダメモリ株式会社 QAオフィス 多田一洋
 「電機業界における LCA 評価の取組み」
 一般社団法人日本電機工業会 環境部 桑原 優
 「日本自動車部品工業会の製品環境指標と標準LCAデータベースの構築」
 矢崎総業株式会社 品質管理室 環境企画部 岸田正俊
 「非鉄製錬業の役割とLCAの取り組み」
 日本鋳業協会 技術部兼環境保安部 二見達也
 「日本アルミニウム協会におけるLCAの取組み」
 一般社団法人日本アルミニウム協会 理事 田尻 彰
 「エコガラスのLC-CO2について」
 日本板硝子株式会社 フロート製造部環境安全G 横田哲也
 「鉄鋼業の省エネルギー技術とLCAについて」
 新日本製鐵株式会社 技術総括部資源化推進グループ 鉦取英宏

- ③ LCA フォーラム表彰「第8回LCA日本フォーラム表彰記念講演」
 平成23年12月16日 於 東京ビッグサイト 会議棟 607会議室 (※「エコプロダクツ2011」会場内)
 参加: 120名(フォーラム会員、非会員、講演者、関係者)
 内容: 第8回LCA日本フォーラム表彰受賞者 (4-2 LCA日本フォーラム表彰参照)
- ④ LCA 日本フォーラム/日本LCA 学会共催セミナー
 「環境マネジメントに関する国際規格、海外の動向」
 平成24年3月23日 於 大手町ファーストスクエアカンファレンス Room B+C
 参加: 160名(フォーラム会員、非会員、講演者、関係者)
 内容: 開会講演 東京都市大学 環境情報学部 准教授 伊坪徳宏
 「ISO14045 製品の環境効率評価」
 パナソニック株式会社 環境本部 ESリサーチセンター 所長 芝池成人
 「ISO のウォーターフットプリント規格の開発に関する
 海外での測定手法・研究等の動向」
 株式会社日立製作所 地球環境戦略室 環境企画センタ 河野文子
 「製品のカーボンフットプリント国際規格について」
 日本電気株式会社 ITプラットフォームソリューション事業部 中原良文
 「SCOPE3 ~取り組む企業の視点から~」
 みずほ情報総研株式会社 環境・資源エネルギー部 環境経営チーム 柴田昌彦
 「欧州委員会における環境フットプリントの動向」
 社団法人産業環境管理協会 LCA 事業推進センター 中野勝行

4-2. LCA日本フォーラム表彰式

平成23年12月16日 於 東京ビッグサイト 会議棟 607会議室
 第8回LCA日本フォーラム表彰の表彰状及び副賞の授与が各受賞者に対し行われた。

部門	受賞者	活動の名称
経済産業省産業技術環境局長賞(1件)		
LCA (普及)	東レ株式会社 環境・エネルギー開発センター 所長 松村一也	ライフサイクルマネジメント(LCM)に基づく環境経営推進と手法普及
LCA日本フォーラム会長賞(2件)		
LCA (製品開発)	日立グループ (株)日立製作所 情報・通信システム社 (株)日立製作所 エンタープライズサーバ事業部 (株)日立製作所 RAID システム事業部 (株)日立製作所 通信ネットワーク事業部 (株)日立製作所 ネットワークソリューション事業部 (株)日立製作所 情報制御システム社 (株)日立製作所 横浜研究所 (株)日立製作所 地球環境戦略室 (株)日立ソリューションズ アラクサラネットワークス(株) (株)日立コンサルティング (株)日立総合計画研究所	日立グループにおける CFP(カーボンフットプリント)への取り組みとビジネス活用
環境効率 (製品活動)	東芝 ソリューション株式会社 取締役社長 河井信三	ソリューション分野における環境効率評価手法の開発と普及
LCA日本フォーラム奨励賞(7件)		
LCA (製品開発)	株式会社東芝 セコンダクター&ストレージ社 カパニー社長 小林清志	半導体分野におけるLCAの実践
LCA (製品開発)	旭化成株式会社 代表取締役 藤原健嗣	旭化成グループにおけるLCA活動
LCA (製品開発)	株式会社ブリヂストン 環境戦略企画部 部長 濱田 隆次	カーボンマネジメントプロジェクトを通じたLCAの浸透とCO ₂ 排出量の削減
LCA (製品開発)	井村屋グループ株式会社 代表取締役社長 浅田剛夫	カーボンフットプリントへの取り組み(対象製品:BOXあずきバー)
LCA (製品開発)	マツダ株式会社 技術企画部 環境安全企画室 アシスタント・マネジャー 新田茂樹/森口義久	市場の普及実態を反映した自動車のLCA手法
環境効率 (普及)	未踏科学技術協会/グリーン購入ネットワーク/三信化工株式会社 三信化工株式会社 代表取締役社長 榎 守雄	エコが見える給食
環境効率 (マテプロ)	群馬合金株式会社 代表取締役 六本木 恒宏	『地球にやさしいダイカスト工場』実現に向けたアルミダイカストにおけるMFCA導入事例
功労賞(2名)		
	赤井 誠 産業技術総合研究所 招聘研究員 東京工業大学 特任教授	LCA日本フォーラムの発足と発展への貢献
	木俣 信行 鳥取環境大学 環境マネジメント学科 教授	LCA日本フォーラムの発足と発展への貢献

5. 情報交流関係活動

5-1. LCA日本フォーラムニュースレター

下記のとおりニュースレターを発行し、会員及び関係機関に配信した。

【日本語版】

①第56号:平成24年1月30日 特集:生物多様性

「絶滅リスクに基づいた生物多様性影響評価」

横浜国立大学 環境情報研究院 教授 松田裕之

「ライフサイクル全体から生物多様性の影響を“可視化”する」

株式会社レスポンスアビリティ 代表取締役 足立直樹 / 吉野 元

【報告】国際会議 LCA XI 参加報告 社団法人産業環境管理協会 中野勝行

②第57号:平成24年2月3日 特集:第8回 LCA 日本フォーラム表彰 1

【経済産業省産業技術環境局長賞】

「ライフサイクルマネジメント(LCM)に基づく環境経営推進と手法普及」

東レ株式会社 環境・エネルギー開発センター 所長 松村 一也

【LCA 日本フォーラム会長賞】

「日立グループにおける CFP (カーボンフットプリント)への取り組みとビジネス活用」

株式会社日立製作所 情報・通信システム社 環境推進本部 並河 治

「ソリューション分野における環境効率評価手法の開発と普及」

東芝ソリューション株式会社 CSR センター 環境推進部 清水 歩

②第58号:平成24年2月17日 特集:第8回 LCA 日本フォーラム表彰 2

【奨励賞】

「半導体分野におけるLCAの実践」

株式会社東芝 セミコンダクター&ストレージ社 高橋 康夫

「旭化成グループにおけるLCA活動」

旭化成株式会社 環境安全部 中橋 順一

「カーボンマネジメントプロジェクトを通じた LCA の浸透と CO₂排出量の削減」

株式会社ブリヂストン 環境戦略企画部 濱田 隆次

「カーボンフットプリントへの取り組み(対象製品:BOXあずきバー)」

井村屋グループ株式会社 総務・人事グループ 戸澤 修美

「市場の普及実態を反映した自動車のLCA手法」

マツダ株式会社 商品戦略本部 新田 茂樹

「エコが見える給食(環境コミュニケーションにカンブリア大爆発を!)」

三信化工株式会社 新規事業室 海老原 誠治

「『地球にやさしいダイカスト工場』実現に向けたアルミダイカストにおけるMFCA導入事例」

群馬合金株式会社 経営企画室 神部 安希子

【英語版】

LIMEの英語版の公開は、LCIAの国際的普及に貢献するものであり、日本企業がLIMEを利用して評価した結果を環境パフォーマンスとして海外で公開するとき、利用した評価手法の内容を簡便に説明することができる。LCA国家プロジェクトの成果であり、かつ、LCA日本フォーラムのホームページにおいて公開しているLIMEの英語版の説明資料を、LCA/DB委員会および情報企画委員会の承認を得て、News Letter 英語版のシリーズとして発行する運びとなった。

No.12 LIME2: Summary

No.13 LIME2: Chapter 0 - Introduction

No.14 LIME2: Chapter 1 - Outline of LIME2

以上

平成23年度LCA日本フォーラム収支決算書(案)

1 一般事業収支

(単位:円)

	科目	H23年度 予算額	H23年度 決算額	比較増減	
I	収入の部				
1	会費	18,865,000	17,421,000	△ 1,444,000	@ 100,000 円× 19 工業会 I = 1,900,000 @ 400,000 円× 2 工業会 II = 800,000 @ 600,000 円× 1 工業会 II = 600,000 @ 30,000 円× 23 工業会 III = 690,000 @ 80,000 円× 8 団体 = 640,000 @ 100,000 円× 1 学術組織 = 100,000 @ 50,000 円× 93 優先企業A = 4,650,000 @ 20,000 円× 1 優先企業A* = 20,000 @ 30,000 円× 1 優先企業B = 30,000 @ 80,000 円× 38 一般企業A = 3,040,000 @ 20,000 円× 2 一般企業A* = 40,000 @ 50,000 円× 23 一般企業B = 1,150,000 @ 30,000 円× 50 一般企業C = 1,500,000 @ 30,000 円× 48 大学等 = 1,440,000 @ 13,000 円× 62 個人 = 806,000 @ 5,000 円× 3 個人* = 15,000 @ 7,000 円× 25 LCA学会 = 175,000 @ 2,000 円× 14 人 = 28,000 @ 1,000 円× 16 人 = 16,000 @ 3,000 円× 70 人 = 210,000 利息 4,195 その他(CFJF共催セミナー-折半戻し) 237,000
2	特別DB利用料	175,000	175,000	0	@ 7,000 円× 25 LCA学会 = 175,000
3	セミナー参加費	100,000	254,000	154,000	@ 2,000 円× 14 人 = 28,000 @ 1,000 円× 16 人 = 16,000 @ 3,000 円× 70 人 = 210,000
4	雑収入	10,000	241,195	231,195	利息 4,195 その他(CFJF共催セミナー-折半戻し) 237,000
	当期収入合計(A)	19,150,000	18,091,195	△ 1,058,805	
II	支出の部				
1	委員会関係費	1,596,000	333,555	△ 1,262,445	委員謝金 119,000 委員旅費 135,260 会場費 47,775 会議費 31,520
2	研究会活動費	868,000	1,063,477	195,477	研究会活動費 ・ICTと生物多様性(公開講演会含む) 608,357 ・LIME2研究会 380,200 ・電子メディア研究会 74,920
3	システム維持管理費	7,300,000	3,774,898	△ 3,525,102	データベースサーバー保守 461,718 データベースサーバー通信費 381,250 データベース管理費 500,000 データ更新調査費 1,575,000 ホームページ更新・管理費 856,930
4	セミナーシンポジウム	1,625,000	3,465,108	1,840,108	講師謝金 351,000 関係者旅費 42,080 会場費 1,546,890 印刷費 1,149,348 会議費 375,790
5	表彰費	900,000	1,229,687	329,687	委員会、表彰式、講演一式 1,229,687
6	広報誌発行費	2,220,000	4,140,955	1,920,955	翻訳費①(LIME2翻訳) 1,347,255 翻訳費②(LIME2翻訳)[データ更新調査予算より] 2,513,700 原稿料 280,000 海外調査 706,058 TC207協力金(H23年度分) 50,000 日本LCA学会(H23年分) 100,000 CFP日本フォーラム(H23年度分) 500,000
7	国際対応活動費	1,350,000	756,058	△ 593,942	海外調査 706,058 TC207協力金(H23年度分) 50,000
8	日本LCA学会会費	100,000	100,000	0	日本LCA学会(H23年分) 100,000
9	CFP日本フォーラム運営協力金	500,000	500,000	0	CFP日本フォーラム(H23年度分) 500,000
10	事務局人件費	3,600,000	3,264,545	△ 335,455	事業支出額の約20% 3,264,545
11	事務局経費	900,000	795,372	△ 104,628	事務局人件費の約15% 489,681 実費経費 305,691
	当期支出合計(B)	20,959,000	19,423,655	△ 1,535,345	
	当期収支差額(A-B)	△ 1,809,000	△ 1,332,460	476,540	
	前年度繰越金(C)	10,621,061	10,621,061	0	
	次期繰越収支差額(A-B+C)	8,812,061	9,288,601	476,540	

(*旧環境効率フォーラム移管会員)

2 特別収支(システム更新積立金)

(単位:円)

	科目	H23年度 予算額	H23年度 決算額	比較増減	
I	収入の部				
	当期収入合計(D)	0	0	0	
II	支出の部				
	JLCA-DBハードウェア更新費	2,000,000	1,031,300	△ 968,700	JLCA-DBハードウェア更新費 1,031,300
	当期支出合計(E)	2,000,000	1,031,300	△ 968,700	
	当期収支差額(D-E)	△ 2,000,000	△ 1,031,300	968,700	
	前年度繰越金(F)	10,000,000	10,000,000	0	
	次期繰越収支差額(D-E+F)	8,000,000	8,968,700	968,700	

会計監査確認書

平成23年度 LCA 日本フォーラム会計書類を監査し、その正当なることを確認致しました。

平成24年4月27日


監事

東京都中央区新川1丁目4番1号
一般社団法人日本化学工業協会
技術部

部長 笠井 清 

監事

東京都大田区下丸子3丁目30番2号
キヤン株式会社 環境品質本部
環境企画センター 環境標準部

部長 二神 龍太郎 

平成 24 年度活動計画書(案)

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

LCA日本フォーラム(以下、「JLCA」)は、LCAに関わる産官学の関係者の情報交流を図るネットワークとして平成7年10月に設立された。活動方針として下記を目標に活動を進めてきた。

- ①LCAデータベース(JLCA-DB)運営管理及び積極的活用の促進
- ②情報発信活動としてセミナーの開催およびメールマガジンの発刊
- ③LCA日本フォーラム表彰の実施
- ④LCA研究会活動の活発化
- ⑤国際動向の積極的な調査

本年度は、昨年度に引き続き、LCAの活用推進に資する研究会活動の展開を図るとともに、LCAをめぐる国内外の動向を整理し、日本におけるLCAデータベースの在り方を検討するなど、以下の活動を重点的に行うこととする。

1. 事業内容

1-1. JLCA-DB活用促進及び運営管理に係わる活動の実施

平成23年度に引き続き、工業会提供データの維持管理の保障体制を確保し、データ収載、更新を実施する。また、国内外におけるデータベースへのニーズや、各種プログラムにおける要求事項を調査し、インベントリデータ収集管理の方法について検討する「インベントリデータベース動向調査」を実施し、必要に応じて JLCA データベースのインベントリデータ収集マニュアルを改訂する。

1-2. JLCA-DB設備更新の実施作業

昨年度、現状の機能レベルのハードウェア設備更新を行った。本年度、機能拡充のソフトウェア更新を検討する。

1-3. 情報発信活動の実施

- ① 最新LCA関連情報を掲載した「フォーラムニュース」を4回/年発刊する。
- ② LCA関連セミナー・シンポジウムを年4回程度開催する。
 - ・定期セミナー(総会記念セミナー、LCA 表彰記念セミナー)
 - ・カーボンフットプリント日本フォーラムとの共催セミナー
 - ・環境マネジメントの国際規格の最新動向や生物多様性など関心度の高いテーマを選定
- ③ ホームページをリニューアルし、コンテンツの充実を図る。
- ④ メールマガジン等により、LCA関連の情報を提供する。

1-4. 国際動向調査と国際会議等への協力

- ①国際動向調査としての国際会議へ専門家を派遣する。

(候補)米国 LCA センター(ACLCA) LCA XII (2012年9月、USA)
2012 LCA Conference (主催 cd2e、協賛 UNEP、2012年11月、France)
SETAC LCA Case Study Symposium(2012年11月、Denmark)

②国際会議、学術会議等への協力

TC207、日本 LCA 学会、エコバランス国際会議への支援等

1-5. 表彰事業活動の実施

- ① 会員企業等のLCAに係わる優れた活動を表彰する。
 - ② LCA 表彰の内容(受賞部門、受賞基準、募集要項等)の再検討を行う。
 - ③ LCA 表彰式と表彰講演をエコプロダクツ2012の会場等にて実施する。
- ※ 多数の応募を受けられるように募集方法・期間並びに広報方法を工夫し、顕彰対象が大企業に偏らないよう配慮する。なお、詳細に関しては表彰選考ワーキンググループにて検討する。

1-6. LCA研究活動の研究会の実施

現在の研究会活動の継続を実施する。

- ①「ICT(情報通信技術)と生物多様性」に関する研究会
- ②LCA 日本フォーラム「LIME2活用検討パート3」研究会
- ③「電子メディア」研究会

LCA研究活動委員会にて新規3件程度の研究会を設置し、メンバーを公募にて募集し、各研究会の委員長を中心に研究会を実施する。

2. 年間スケジュール予定

2-1. 委員会

- ① 通常総会 年1回 (7月3日)
- ② 運営委員会 年2回程度 (6月、2月)
- ③ LCA/DB 委員会 年2回程度 (6月、2月)
- ④ 情報企画委員会 年3回程度 (5月、9月、1月)
- ⑤ 研究活動委員会 年2回程度 (6月、10月)
- ⑥ 表彰選考委員会 年2回程度 (内容検討7月、最終選考11月)
- ⑦ 表彰選考ワーキンググループ 年2回程度、選考審査作業 (8月、11月)

2-2. 情報発信

- ① セミナー開催 年4回程度 (7月、10月、12月、3月)
- ② ニュースレター発刊 年4回程度 (8月、10月、12月、1月)
- ③ ホームページ更新(会員紹介ページ新規作成、ニュース配信随時)

以上

平成24年度LCA日本フォーラム収支予算書(案)

1 一般事業収支

(単位:円)

	科目	H23年度 予算額	H23年度 決算額	H24年度 予算額	
I	収入の部				
1	会費	18,865,000	17,421,000	17,421,000	@ 100,000 円× 19 工業会 I = 1,900,000 @ 400,000 円× 2 工業会 II = 800,000 @ 600,000 円× 1 工業会 II = 600,000 @ 30,000 円× 23 工業会 III = 690,000 @ 80,000 円× 8 団体 = 640,000 @ 100,000 円× 1 学術組織 = 100,000 @ 50,000 円× 93 優先企業A = 4,650,000 @ 20,000 円× 1 優先企業A* = 20,000 @ 30,000 円× 1 優先企業B = 30,000 @ 80,000 円× 38 一般企業A = 3,040,000 @ 20,000 円× 2 一般企業A* = 40,000 @ 50,000 円× 23 一般企業B = 1,150,000 @ 30,000 円× 50 一般企業C = 1,500,000 @ 30,000 円× 48 大学等 = 1,440,000 @ 13,000 円× 62 個人 = 806,000 @ 5,000 円× 3 個人* = 15,000 @ 7,000 円× 25 LCA学会 = 175,000 @ 3,000 円× 50 人 = 150,000
2	特別DB利用料	175,000	175,000	175,000	@ 7,000 円× 25 LCA学会 = 175,000
3	セミナー参加費	100,000	254,000	150,000	@ 3,000 円× 50 人 = 150,000
4	雑収入	10,000	241,195	10,000	
	当期収入合計(A)	19,150,000	18,091,195	17,756,000	
II	支出の部				
1	委員会関係費	1,596,000	333,555	700,000	委員謝金 200,000 委員旅費 200,000 会場費 200,000 会議費 100,000
2	研究会活動費	868,000	1,063,477	1,500,000	研究会活動費 1,500,000 (継続:3件 新規:3件)
3	システム維持管理費	7,300,000	3,774,898	6,400,000	データベースサーバー保守・管理費 900,000 レンタルサーバー利用費 300,000 データ更新調査費(インベントリ動向調査含む) 4,000,000 WEBサイト更新・管理費(新規ページ作成含む) 1,200,000
4	セミナーシンポジウム	1,625,000	3,465,108	2,600,000	講師謝金 400,000 関係者旅費 200,000 会場費 900,000 印刷費 800,000 会議費 300,000
5	表彰費	900,000	1,229,687	1,300,000	委員会、表彰式、講演一式 1,300,000
6	広報誌発行費	2,220,000	4,140,955	3,100,000	編集費 200,000 翻訳費 2,500,000 原稿料 400,000
7	国際対応活動費	1,350,000	756,058	2,050,000	海外調査 1,500,000 TC207協力金(H24年度分) 50,000 第10回エコバランス国際会議 500,000 日本LCA学会(H24年分) 100,000 CFP日本フォーラム(H24年度分) 500,000
8	日本LCA学会会費	100,000	100,000	100,000	
9	CFP日本フォーラム運営協力金	500,000	500,000	500,000	
10	事務局人件費	3,600,000	3,264,545	3,500,000	事業支出額の約20% 3,500,000
11	事務局経費	900,000	795,372	700,000	事務局経費(人件費の約15%) 500,000 実費経費 200,000
	当期支出合計(B)	20,959,000	19,423,655	22,450,000	
	当期収支差額(A-B)	△ 1,809,000	△ 1,332,460	△ 4,694,000	
	前年度繰越金	10,621,061	10,621,061	9,288,601	
	次期繰越収支差額(A-B+C)	8,812,061	9,288,601	4,594,601	

(*旧環境効率フォーラム移管会員)

2 特別収支(システム更新積立金)

(単位:円)

	科目	H23年度 予算額	H23年度 決算額	H24年度 予算額	
I	収入の部				
	当期収入合計(D)	0	0	0	
II	支出の部				
	当期支出合計(E)	2,000,000	1,031,300	500,000	データ入カツール更新 500,000
	当期収支差額(D-E)	△ 2,000,000	△ 1,031,300	△ 500,000	
	前年度繰越金(F)	10,000,000	10,000,000	8,968,700	
	次期繰越収支差額(D-E+F)	8,000,000	8,968,700	8,468,700	

平成24年度LCA日本フォーラム役員交替(案)

(敬称略)

副会長:(平成24年5月末 交替により任期終了)

関田 貴司 一般社団法人日本鉄鋼連盟
環境・エネルギー政策委員会 委員長
JFE スチール株式会社 副社長

福島 秀男 社団法人日本経済団体連合会
環境安全委員会廃棄物・リサイクル部 部会長代行
太平洋セメント株式会社 取締役専務執行役員

副会長:(平成24年6月 交替により就任)

進藤 孝生 一般社団法人日本鉄鋼連盟
環境・エネルギー政策委員会 委員長
新日本製鐵株式会社 代表取締役副社長

小川 賢治 一般社団法人日本経済団体連合会
環境安全委員会 廃棄物・リサイクル部 部会長代行
太平洋セメント株式会社 常務執行役員

監事:(平成23年7月末 交替により任期終了)

中村 和利 キヤノン株式会社 環境本部 環境標準部 部長

監事:(平成23年8月 交替により就任)

二神 龍太郎 キヤノン株式会社 環境品質本部 環境標準部 部長

平成24年度LCA日本フォーラム役員一覧

(敬称略)

会長:

山本 良一 東京都市大学 環境情報学部 特任教授
国際基督教大学 客員教授

副会長:

稲葉 敦 工学院大学 工学部環境エネルギー化学科 教授

足立 芳寛 東京大学大学院 工学系研究科 教授

古賀 剛志 特定非営利活動法人エコデザイン推進機構 理事

菅原 郁郎 経済産業省 産業技術環境局 局長

奥平 総一郎 一般社団法人日本自動車工業会 環境委員会 委員長
トヨタ自動車株式会社 常務役員

(新任) 進藤 孝生 一般社団法人日本鉄鋼連盟
環境・エネルギー政策委員会 委員長
新日本製鐵株式会社 代表取締役副社長

(新任) 小川 賢治 一般社団法人日本経済団体連合会
環境安全委員会 廃棄物・リサイクル部 部会長代行
太平洋セメント株式会社 常務執行役員

監事:

笠井 清 一般社団法人日本化学工業協会 技術部 部長

(新任) 二神 龍太郎 キヤノン株式会社 環境品質本部 環境標準部 部長

平24年度LCA日本フォーラム運営委員会委員名簿

(順不同・敬称略)

		氏名	組織名	所属	役職
1	委員長	稲葉 敦	工学院大学	工学部環境エネルギー化学科	教授
2	副委員長	古賀 剛志	特定非営利活動法人 エコデザイン推進機構		理事
3	副委員長	芝池 成人	パナソニック株式会社	環境本部 環境渉外室	室次長 兼 環境戦略担当部長
4	副委員長	寺島 清孝	一般社団法人日本鉄鋼連盟	技術・環境本部	技術・環境本部長
5	副委員長	南原 智彦	三菱電機株式会社	環境推進本部	本部長
6	委員	鷲尾 修司	一般社団法人日本ガス協会	環境部	部長
7	委員	足立 芳寛	東京大学大学院	工学系研究科	教授
8	委員	荒井 宏昭	一般社団法人日本自動車部品工業会	技術部	技術部長
9	委員	石谷 久	一般社団法人新エネルギー導入促進協議会		代表理事 (東京大学 名誉教授)
10	委員	大友 敏雄	一般社団法人電子情報技術産業協会	環境部	部長
11	委員	伊坪 徳宏	東京都市大学	環境情報学部	准教授
12	委員	上野 潔	金沢工業大学	東京虎ノ門キャンパス 高信頼ものづくり専攻	客員教授
13	委員	大石 美奈子	公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会		理事 環境委員長
14	委員	笠井 清	一般社団法人日本化学工業協会	技術部	部長
15	委員	笠原 隆男	石油化学工業協会	業務部兼企画部	担当部長
17	委員	吉良 雅治	一般社団法人日本産業機械工業会	産業機械第1部兼技術部	部長
18	委員	國部 克彦	神戸大学	大学院 経営学研究科	教授
19	委員	小竹 忠	一般社団法人日本自動車工業会	環境統括部	副統括部長
20	委員	佐野 正之	一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会	環境・省エネ部	担当部長
21	委員	実平 喜好	株式会社東芝	環境推進部	部長
22	委員	中村 二郎	NTT環境エネルギー研究所	環境推進プロジェクト	プロジェクトマネージャ
23	委員	小野寺 浩幸	株式会社日立製作所	地球環境戦略室	室長
24	委員	田和 健次	石油連盟	技術環境安全部	部長
25	委員	寺岡 謙治	電気事業連合会	立地環境部	副部長
26	委員	二神 龍太郎	キヤノン株式会社	環境企画センター 環境標準部	部長
27	委員	葉石 善一	社団法人日本建設業連合会	建築部	建築部長
28	委員	端谷 隆文	富士通株式会社	環境本部	シニアディレクター
29	委員	平尾 雅彦	東京大学	大学院工学系研究科 化学システム工学専攻	教授
30	委員	細川 浩之	社団法人セメント協会	生産・環境部門	リーダー
31	委員	松浦 弘之	一般社団法人日本ガス石油機器工業会	技術グループ 兼 環境・リサイクルグループ	マネージャー
32	委員	水谷 広	日本大学大学院	生物資源科学研究科	教授
33	委員	田尻 彰	一般社団法人日本アルミニウム協会		理事
34	委員	飯田 健太	経済産業省	産業技術環境局 環境経済室／環境調和産業推進室	室長

平成24年度LCA日本フォーラム LCA/DB委員会名簿

(順不同・敬称略)

		氏名	組織名	所属	役職	工業会
1	委員長	平尾 雅彦	東京大学	大学院工学系研究科 化学システム工学専攻	教授	
2	副委員長	小野 透	新日本製鐵株式会社	技術総括部	部長	一般社団法人日本鉄鋼連盟
3	委員	原田 幸明	独立行政法人物質・材料研究機構		特命研究員	
4	委員	松野 泰也	東京大学	大学院 工学系研究科	准教授	
5	委員	金子 一彦	株式会社荏原製作所	企業リスク管理統制部 環境推進室 環境マネジメントグループ	グループ長	一般社団法人日本産業機械工業会
6	委員	佐藤 義幸	一般社団法人日本ガス協会	環境部 地域環境グループ	マネジャー	一般社団法人日本ガス協会
7	委員	野村 正義	昭和電工株式会社	技術本部 環境安全室	スタッフマネージャー	一般社団法人日本アルミニウム協会
8	委員	青木 尚樹	社団法人セメント協会	生産・環境部門	リーダー	社団法人セメント協会
9	委員	佐藤 正章	鹿島建設株式会社	建築設計本部	技師長	社団法人日本建設業連合会
10	委員	岸田 正俊	株式会社矢崎総業	品質管理室 環境企画部	主管	一般社団法人日本自動車部品工業会
11	委員	菊田 真人	社団法人日本塗料工業会	技術部	部長	社団法人日本塗料工業会
12	委員	村松 佳孝	一般社団法人電線総合技術センター	研究開発グループ	グループ長	一般社団法人電線総合技術センター
13	委員	長縄 肇志	塩ビ工業・環境協会	技術部	部長	塩ビ工業・環境協会
14	委員	浅井 一宏	日本鋳業協会	技術部 兼 環境保安部	次長	日本鋳業協会
15	委員	齋藤 潔	一般社団法人日本電機工業会	環境部 地球環境保全第一課	課長	一般社団法人日本電機工業会
16	委員	木本 安英	日本金属工業株式会社	生産本部 地球環境保全部	委員長	ステンレス協会

平成24年度LCA日本フォーラム情報企画委員会

(順不同・敬称略)

		氏名	組織名	所属	役職
1	委員長	伊坪 徳宏	東京都市大学	環境情報学部	准教授
2	委員	市村 浩一	一般社団法人日本電機工業会	環境部 地球環境保全第一課	主任
3	委員	長谷川 浩	大日本印刷株式会社	環境安全部	シニアエキスパート
4	委員	田原 聖隆	独立行政法人産業技術総合研究所	安全科学研究部門 社会とLCA研究グループ	グループ長
5	委員	中橋 順一	旭化成株式会社	環境・安全部	副部長
6	委員	平井 真紀子	株式会社リコー	社会環境本部 環境経営企画室	スペシャリスト
7	委員	前川 均	株式会社日立製作所	情報・通信グループ 環境推進本部環境統制部	主管技師
8	委員	宗國 肇	社団法人プラスチック処理促進協会	技術開発部	部長

平成24年度LCA日本フォーラム研究活動委員会

(順不同・敬称略)

No		氏名	組織名	所属	役職
1	委員長	水谷 広	日本大学大学院	生物資源科学研究科	教授
2	委員	伊香賀 俊治	慶應義塾大学	理工学部 システムデザイン工学科	教授
3	委員	高木 敏宏	TOTO株式会社	総合研究所 研究統括G	グループリーダー
4	委員	芝池 成人	パナソニック株式会社	環境本部 環境渉外室	室次長 兼 環境戦略担当部長
5	委員	醍醐 市朗	東京大学	大学院工学系研究科 マテリアル工学専攻	准教授
6	委員	竹山 典男	株式会社東芝	環境推進部 製品環境推進担当	グループ長
7	委員	小松 郁夫	東洋製罐株式会社	資材・環境本部 環境部	課長

平成24年度 LCA日本フォーラム表彰委員会

(順不同・敬称略)

No		氏名	組織名	所属	役職
1	委員長	石谷 久	一般社団法人新エネルギー導入促進協議会		代表理事
2	副委員長	足立 芳寛	東京大学	大学院 工学系研究科 マテリアル工学専攻	教授
3	副委員長	小川 賢治	太平洋セメント株式会社		常務執行役員
4	委員	岩間 芳仁	一般社団法人日本経済団体連合会		副委員長
5	委員	内山 洋司	筑波大学大学院	システム情報工学研究科 リスク工学専攻	教授
6	委員	國部 克彦	神戸大学大学院	経営学研究科	教授
7	委員	竹本 裕介	日刊工業新聞社	モノづくり推進会議実行委員会	委員長兼論説主幹
8	委員	辰巳 菊子	公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会		常任顧問
9	委員	飯田 健太	経済産業省	産業技術環境局 環境調和産業推進室	室長
10	委員	横山 宏	社団法人産業環境管理協会		理事

平成24年度 LCA日本フォーラム 表彰選考ワーキンググループ

(順不同・敬称略)

No		氏名	組織名	所属	役職
1	委員長	上野 潔	金沢工業大学	東京虎ノ門キャンパス 高信頼ものづくり専攻	客員教授
2	委員	水野 建樹	一般社団法人未踏科学技術協会		研究主幹
3	委員	大石 美奈子	公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会		理事 環境委員長
4	委員	中嶋 道靖	関西大学	商学部	教授
5	委員	中野 加都子	神戸山手大学	現代社会学部環境文化学科	教授
6	委員	端谷 隆文	富士通株式会社	環境本部	シニアディレクター
7	委員	本藤 祐樹	横浜国立大学	環境情報研究院	准教授

平成24年度LCA日本フォーラム
LCAデータベース設備等更新検討ワーキンググループ

(順不同・敬称略)

No		氏名	組織名	所属	役職
1	委員長	本藤 祐樹	横浜国立大学 大学院	環境情報研究院	准教授
2	委員	田原 聖隆	独立行政法人産業技術総合研究所	安全科学研究部門 社会とLCA研究グループ	グループ長
3	委員	吉村 祐美	東洋製罐株式会社	資材・環境本部 環境部	
4	委員	望月 規弘	キャノン株式会社	環境本部環境企画センター EMS評価第一課	
5	委員	菊池 康紀	東京大学	工学系研究科化学 システム工学専攻	助教
6	委員	中山 憲幸	日本電気株式会社	環境推進部	エキスパート

LCA日本フォーラム規約

(名称)

第1条 本会は、LCA日本フォーラム（以下「フォーラム」という。）と称する。

(目的)

第2条 フォーラムは、我が国におけるLCA情報センターの役割を果たすことを目的として、経済産業省プロジェクトとして構築されたLCAデータベース（以下、「データベース」という。）の管理運営を行うとともに、学際的、業際的視点に立ち、ライフサイクルアセスメント（以下「LCA」という。）の研究の成果および情報の集積、LCA関係者間の交流促進、並びにLCAの啓発・普及活動を推進することとする。

(事業活動)

第3条 フォーラムは、前条の目的を達成するため、次の活動を行う。

- (1) LCAデータベースの維持管理の運営
- (2) 会員へのLCA関連情報提供
- (3) 会員間の交流活動としてのセミナー等の開催および国際交流の実施
- (4) LCA研究の場の提供およびLCA標準化への貢献
- (5) 前各号のほか、目的達成に必要な事業

(会員)

第4条 フォーラムの会員は、工業会Ⅰ会員、工業会Ⅱ会員、工業会Ⅲ会員、団体等会員、学術組織会員、優先企業会員、工業会Ⅱ登録企業会員、一般企業会員、大学研究室等会員および個人会員とする。

- 2 工業会Ⅰ会員は、データベース構築に協力した工業会であって、基本経費部分に協力し、利用経費部分については工業会会員企業の自由意思に任せる工業会。
- 3 工業会Ⅱ会員は、データベース構築に協力した工業会であって、基本経費部分に協力するとともに、当該工業会会員企業のデータベース利用経費部分について工業会として協力する工業会。
- 4 工業会Ⅲ会員は、データベース構築に協力した工業会の内、年間事業規模が別に定める額以下の工業会であって、基本経費部分に協力する工業会。
- 5 団体等会員は、データベース構築に参画しなかった工業会、国公私立の研究機関等であって、基本経費部分に協力するとともに、自らのLCA活動としてデータベース利用を行う組織。
- 6 学術組織会員は、フォーラムの目的および活動に賛同し、基本経費部分に協力する組織。
- 7 優先企業会員は、工業会Ⅰ会員の会員企業であって、データベース利用を行う企業。
- 8 工業会Ⅱ登録企業会員は、工業会Ⅱ会員により登録された企業であって、データベース利用を行う企業。
- 9 一般企業会員は、工業会Ⅰ会員および同Ⅱ会員いずれの工業会の会員企業でなく、基本経費部分に協力するとともにデータベース利用を行う企業。
- 10 大学研究室等会員は、大学の研究室およびそれに準じるグループ又は非営利組織であって、基本経費部分に協力するとともに、自らのLCA活動としてデータベース利用を行う組織。
- 11 個人会員は、いずれの組織に属さない個人であって、基本経費部分に協力するとともに、データベース利用を行う者。

(会費)

第5条 会員は、総会において別に定める会費を納入しなければならない。

(入退会)

第6条 フォーラムの会員になろうとする者は、別に定める入会申込書を会長に提出し、運営委員会の承認を得なければならない。

- 2 会員がフォーラムを退会するときは、別に定める退会届を会長に提出しなければならない。

3 会員が次の各号の一つに該当するときは、退会したものとします。

- (1) 法人又は団体が解散又は破産したとき。
 - (2) 死亡又は失踪宣告を受けたとき。
 - (3) 会費を納入せず、督促後6ヶ月を経ても納入しないとき。
- (除名)

第7条 会員が別に定めるLCAデータベース運用規則又は会費規則に違反したときは、運営委員会の3分の2以上の議決をもって除名することができる。

(会長、副会長および監事)

第8条 フォーラムに次の役員を置く。

- (1) 会長1名および副会長若干名
 - (2) 監事2名
- 2 会長は、フォーラムを代表し、会務を統轄する。
 - 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときはその職務を代行する。
 - 4 監事は、フォーラムの収支決算書の監査を行う。
 - 5 会長、副会長および監事は、総会において選任する。
 - 6 会長、副会長および監事の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(総会)

第9条 総会は会員をもって構成する。

- 2 総会は、会長、副会長および監事の選任、事業計画、予算・決算の承認、その他重要事項を審議し、決定する。
- 3 総会は、毎年1回以上開催する。
- 4 総会は、構成員の2分の1以上の出席をもって構成し、出席者の過半数の同意で議決するものとする。

(運営委員会)

第10条 フォーラムに運営委員会を置き、次の者をもって構成する。

- (1) 委員長 1名
 - (2) 副委員長 1名
 - (3) 委員 20名以内
- 2 運営委員会の委員長、副委員長および委員は、会員の内から会長が選任する。
 - 3 運営委員会は、フォーラムの活動に関し必要な事項を処理し、委員会に付議する事項を審議する。
 - 4 運営委員会は、運営委員長が必要と認めた場合開催する。
 - 5 第8条第6項の規定およびただし書きは、運営委員会委員長、副委員長および委員の任期に準用する。
 - 6 第9条第4項の規定は、運営委員会の定足数及び議決に準用する。

(部会および委員会)

第11条 運営委員会の議決により、フォーラムに専門部会および専門委員会を置くことができる。

(事務局)

第12条 フォーラムの事務局は、社団法人産業環境管理協会に置く。

(規約の改正)

第13条 本規約の改正は、総会の議決により行う。

附 則

1. この規約は、平成7年10月25日より施行する。
2. この規約の改正は、平成16年4月1日より施行する。
3. この規約の改正は、平成17年4月1日より施行する。